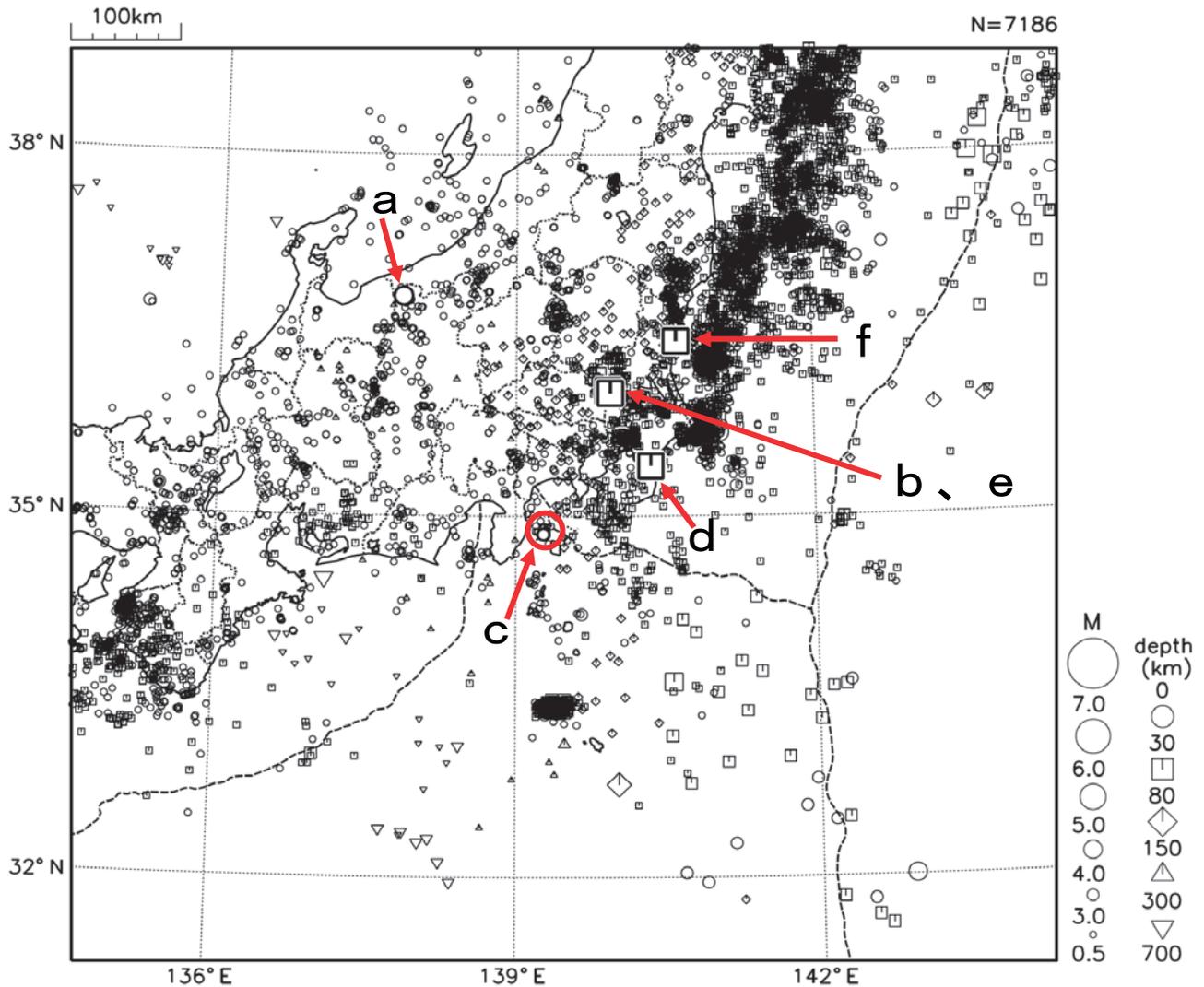


○関東・中部地方の地震活動

図6 関東・中部地方の震央分布図（2016年7月1日～7月31日、M \geq 0.5）

〔概況〕

7月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は80回（6月は54回）であった。7月中の主な地震活動は次のとおりである。

1日08時04分に新潟県上越地方のごく浅い場所でM4.6の地震（図6中のa）が発生し、新潟県上越市、長野県小谷村で震度3を観測したほか、中部地方で震度2～1を観測した（p. 4、12参照）。

情報発表に用いた震央地名は〔長野県北部〕である。

17日13時24分に茨城県南部の深さ42kmでM5.0の地震（図6中のb）が発生し、関東地方で震度4を観測したほか、東北地方から中部地方にかけて震度3～1を観測した（p. 5、13参照）。

17日から伊豆大島近海で地震活動（図6中の領域c）がやや活発になり、24日13時54分に最大規模のM3.7の地震（最大震度3）が発生するなど、震度1以上を観測する地震が18回発生した（p. 5、14参照）。

19日12時57分に千葉県北東部の深さ33kmでM5.2の地震（図6中のd）が発生し、千葉県で震度4を観測したほか、関東甲信越地方と静岡県で震度3～1を観測した（p. 5、15参照）。

情報発表に用いた震央地名は〔千葉県東方沖〕である。

20日07時25分に茨城県南部の深さ42kmでM5.0の地震（図6中のe）が発生し、茨城県、栃木県、埼玉県で震度4を観測したほか、東北地方から中部地方にかけて震度3～1を観測した（p. 5、13参照）。

27日23時47分に茨城県北部の深さ57kmでM5.4の地震（図6中のf）が発生し、茨城県日立市、常陸太田市で震度5弱を観測したほか、東北地方から中部地方にかけて震度4～1を観測した（p. 6、16参照）。